

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

つながれ 和泉っ子 ～人と社会と未来の自分～
(知) 学が楽しさを味わい、粘り強く学び自ら解決する子を育てます。
(徳) 思いやりをもち、互いに認め合う、心豊かな子を育てます。
(体) 心と体を鍛え、自他の命や体を大切にすることを育てます。
(公) 地域に学び、地域に親しみ、地域を大切にすることを育てます。
(関) 社会への視野を広げ、進んで働きかけようとする子を育てます。

教育課程全体で
育成を目指す資質・能力

<コミュニケーション能力>
<持続可能な社会の創造に貢献する力>

具体化した資質・能力

言葉による伝え合い 自己理解・他者理解
地域を愛する力 夢や目標をもち生き方を追及する姿勢

中期取組目標

○学校、家庭、地域がしっかりとてを結び、児童が安全、安心に過ごせる学校生活を過ごせる学校にします。
・「主体的・対話的で深い学び」の具現化を通して、基礎基本の定着を図ると共に、児童が学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、自己の思いを豊かに表現できる子を育てます。
・道徳の学習や、まこと協働した学習に取り組み、豊かな心を育みます。
・体育的行事に取り組むと共に、保健学習、食育を充実させることを通して健康的な身体を作ります。
・学校・家庭・地域との「つながり」を大切にして、地域の中に生きる心豊かな子を育てます。

学力向上アクションプラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 (確かな学力), 具体的取組 (国語科の研究で培った言語能力を元に、各教科において「伝え合う力」を高める授業づくりを推進する。)

学力向上に関わる本校の状況

令和4年度横浜市学力学習状況調査等からの実態から、全体として学習意識や生活意識は平均以上であり、授業中の学習態度もよく、意欲的に学習に取り組む児童が多い。
学力は、3年6年では平均を上回り、4年5年では平均を下回る。(令和2年度、3年度は実施せず)5年生と6年生においては、令和元年度のデータと見比べてみても、ほぼ横ばいで大きな変化は見られない。
こうした実態を受け、引き続き基礎学力の定着を目指し、学年に応じた指導の充実を図り、高い意識を持ち続ける本校児童のよさを失わないよう指導に努めていく必要がある。

今年度の目標

どの子ども「わかる」喜びを実感できる授業を保障し、基礎・基本の定着を図るとともに、課題解決学習を通して、考える力・表現力の育成を目指していく。

目標を実現するための具体的行動プラン

Table with 2 columns: 上半期, 下半期. Lists specific action plans for each semester, such as '①基礎・基本の定着を図り、自ら学ぶ力を培う。' and '②特別支援教室の充実を図り、一人ひとりを大切にする。'

豊かな心の育成推進プラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 (豊かな心), 具体的取組 (「聴き合い活動」、「褒め合い活動」を通して、児童一人ひとりが安心して豊かに過ごせる親和的な学級・学校風土を醸成する。)

豊かな心に関わる本校の状況

素直で子供らしく人と関わりをもてる児童が多い。学力学習状況調査の結果からも、学習に対しても学校生活に対しても、前向きな気持ちを持ち行動している様子が分かる。昨年度、学校保健委員会を中心として「心も体も元気いっぱい和泉小学校 ～みんな仲良く過ごすために相手の気持ちを考えよう～」をテーマに全校で取組を行ってきたことや、児童支援専任を中心として様々な立場の教職員がチームとなって児童の心に寄り添い指導にあたってきたこともあり、一人ひとりの心を大切に教育活動を進めてきた。
挨拶においては、友達、先生、地域で関わる人など気持ち良い挨拶ができる児童も多いが、個人間格差もまだまだ課題である。
安定した日常を送っている児童が多い中、自己肯定感が低く、自分の考えや気持ちを十分表現できない児童もいる。誰であっても一人ひとりが自分の良さを分り、友達や周囲の人との関わりに心地よさを感じながら、自己肯定感を高めようとする姿がこれからも求められる。

今年度の目標

目標を実現するための具体的行動プラン

Table with 2 columns: 上半期, 下半期. Lists specific action plans for each semester, such as '○道徳教育のなかめとなる「道徳科」の指導を通して、子どもたちが道徳的な見方や考え、感じ方を多様に広げ、自己を深く見つめ、よりよく生きようとする道徳実践力を身につけられるようにする。'

健やかな体の育成プラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 (健やかな体), 具体的取組 (体育授業や休み時間の遊び方を工夫し、児童の体力向上につながるようにする。)

健やかな体に関わる本校の状況

令和4年度横浜市体力運動能力調査の結果から、体力運動能力は横浜市平均以上であり、生活実態調査もおおむね平均以上であることがわかる。また、前年度と比較すると、感染症対策の緩和に伴い、体力運動能力も上昇してきた様子が伺える。
本校は横浜市の中でも自然豊かな立地にあり、学区の周囲には県や市の運動公園や和泉遊水地など様々な運動を楽しめる施設が存在する。そうした環境もあり、放課後や習い事などで体を動かす運動に親しむ児童も多い。また、学校の休み時間や放課後の家庭開放、放課後キッズクラブ等でも外遊びを楽しむ児童が多く見られる。おおむね進んで運動する児童が多い実態にはあるが、そうでない児童も一定数あり、より多くの児童が運動に親しむ環境づくりを続けていく必要がある。

今年度の目標

体を動かすことの喜びや楽しさを知り、生活の中に運動を取り入れようとする。規則正しい生活習慣を身につけようとする。目標に向かって根気強く取り組もうとする。積極的に友達とふれ合い、互いに伸びていこうとする。

目標を実現するための具体的行動プラン

Table with 2 columns: 上半期, 下半期. Lists specific action plans for each semester, such as '・体育科では、各学年の運動の系統性を意識したカリキュラムを実践し、児童が運動の楽しさや喜びを実感し、運動の日常化につなげられるよう体育学習の充実を図る。'